

ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年2月後半）

1. 経済

- ルクセンブルク統計局によると、当国においてインターネット接続を有する家庭は2013年は94.5%であり、87%のインターネット利用者がほぼ毎日インターネットに接続していると回答した。（17日付統計局プレスリリース）
- 2014年1月のインフレ率は年率1.5%（2013年12月は1.5%）。また、ルクセンブルク統計局のインフレ率予測によると、2014年は1.5%、2015年は1.7%の見込み。（19日付統計局プレスリリース）
- フィナンシャルタイムズ紙の傘下にあるfDI magazineの外国投資家に対する国及び地域別の誘致力に関する調査によると、ルクセンブルクの経済潜在性は欧州における「ミクロ規模都市部門」にて第1位。（20日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス）
- 当国衛星関連企業のSES社、2013年の収益は18億6000万ユーロ（前年比+1.9%）であるが、利益はグループ内における税負担の影響を受けて566.5百万ユーロ（同▲12.7%）となった。（22日付ル・コティディアン紙）
- 2014年1月の失業率は7.1%（前月は7.1%、前年同月は6.5%）。（24日付統計局プレスリリース）
- アルセロール・ミタル社（本社当国）、新日鉄住金と共に、独鉄鋼大手ティッセンクルップの米工場を15億5000万米ドルで26日に買収を完了した旨発表。（26日付アルセロール・ミタル社コミュニケ）
- 2014年2月の消費者信頼感指数は▲1（前月は▲2）で、前月より僅かに改善。（27日付中央銀行プレスリリース）
- NTTコミュニケーションズ社、LuxConnect社（ルクセンブルク政府100%出資）が運営するデータセンターにIP接続拠点を設置。3月末よりサービス提供を開始する予定。また、当国ITC業界団体であるLuCIX（Luxembourg Commercial Internet exchange）の56番目のメンバーとして同社が加わった。（28日付ヴォルト紙電子版）
- 米格付会社ムーディーズ、28日にルクセンブルクの格付を「AAA」と維持し、見通を「ネガティブ」から「安定的」へと見直した。（3月3日付財務省コミュニケ）

2. 金融

- INGルクセンブルク、2013年の純利益は106.1百万ユーロで、前

年比▲11%。他方、業務規模は拡大傾向にあり、プライベート・バンキング部門の業績は+2%、リテール部門では+5%の預金増及び+14%の貸付増で、法人部門の業績は+6.6%であった。(20日付ル・ジュディ紙)

●ルクセンブルク・フォー・ファイナンス主催の「人民元フォーラム」が26日に当地にて開催。国内外から300名以上が参加し、グラマーニャ財務相やメルシュECB理事が講演を実施。(26日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス)

3. 政府

●グラマーニャ財務相、17日及び18日にブリュッセル開催のユーログループ及びEU財務相会合に出席。(17日付財務省コミュニケ)

●グラマーニャ財務相、20日にベルンにてヴィドマー＝シュルンプ・スイス財務相と会談。(20日付財務省コミュニケ)

●シュナイダー経済相、20日及び21日にブリュッセル開催のEU競争担当相会合(産業政策、域内市場及び宇宙政策)に出席。(21日付経済省コミュニケ)

●マイシュ教育相、21日にブリュッセル開催のEU競争担当相会合(研究)に出席。(21日付高等教育・研究省コミュニケ)

●グラマーニャ財務相、25日にPwCルクセンブルク社主催のセミナー「Banking Day」にてスピーチ。(27日付ル・ジュディ紙)

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。